



道路特定財源について

生活を支える道路を守るため 率は、皆さんの安全で安心な 「道路特定財源」の暫定税

を限定して定められており、 されてきました。現在の法律 等で基本税率の約2倍の税率 の暫定措置として、地方税法 油引取税などの道路特定財源 法改正によって今日まで継続 が適用されています。この暫 諸税は、道路整備に使うため 地方税法等で期間 や地方道路税、軽

が廃止されると

現在、国会において「道路特 の暫定税率を維持す

> スの低下にもつながりかねませ 教育等の道路以外の市民サービ 政全体に影響を及ぼし、福祉、 困難になるだけでなく、市の財 や既存道路の維持管理が極めて いて算出すると約13億円の減。 減り(平成18年度決算にもとづ ていた道路特定財源等が大幅に 台には、これまで西宮市に入っ の法案が年度内に成立しない場 すが、暫定税率を維持するため るための法案が審議されていま 左グラフ参照)、

> 新たな道路整備

76号「名塩道路」をはじめ、 補強、既存道路施設の維持補修 通学路の歩道整備や橋梁の耐震 ができなくなります。さらに、 県施行の「阪神連続立体交差事 なども十分に行えなくなります。 めていますが、計画どおり整備 業」や市施行の街路事業等を進 また、市内では現在、国道1

民サービスの質を守るために、 の安全確保」のために、また市 要であると考えています。 道路財源の確保は市としても重 必要な「みちづくり」と「道路

4 1 4 市財政課(0798・35・3 【問合せ先】市道路建設課

建設費の借入金の償還等 (75 億円)	道路維持費等 (22 億円)			道路整備費等 (33億円)			
<歳入>							
一般財源等(82 億円)		道路特定財源 (19 億円)			補助金、 交付金、 地方債 (29 億円)		
暫定税率が廃止された 場合の歳入	Ŀ					_	
一般財源等(82 億円)		道路特 定財源 (10 億円)	補助金、 地方債 (25 億円)		ŧ.		